国際医療福祉大学三田病院
公開キャンサーボード



キャンサーボードとは、手術、放射線診断、放射線治療、化学療法、病理診断、及び緩和ケアに携わる専門的な知識、及び技能を有する医師その他の専門を異にする医師等によるがん患者の症状、状態、及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確認等するためのカンファレンスです。

この度、当院と連携しています医療機関の医師の皆様にもご参加いただけるよう公開キャンサーボードといたしました。ご紹介いただいた患者様についての症例検討も行いますので、ご希望の場合はお申込み時にその旨を記入してください。

ご多忙とは存じますが、是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

連携医療機関限定　参加費無料

「術前検査で肺血栓塞栓症を認め抗凝固療法を施行した子宮体癌/卵巣癌と食道癌の重複癌を認めた1例」

2026年9月15日（火）17：00～17：30　婦人科症例

婦人科悪性腫瘍では他癌腫と比較して血栓症の合併が多く、術前検査では血栓症を念頭に置く必要がある。本症例は40代女性で、近医から両側卵巣腫瘤の精査加療を目的に当院を紹介され受診した。受診時に動悸の訴えがあり、術前検査でD-dimer値の上昇と、造影CT検査でDVTおよびPEを認め、また転移性卵巣腫瘍の鑑別を目的に上下部内視鏡検査を施行し表在性の食道癌を認めた。
心臓血管センターに入院しヘパリンを用いて血栓症治療を開始したが経過中に新たに腎梗塞を認め、トルソー症候群が疑われた。血栓原因除去および悪性腫瘍治療目的に関係診療科および安全管理部門と連携しハイリスクカンファレンスで情報を共有した上で子宮体癌/卵巣癌の根治術を施行した。術中および術後の合併症なく、その後のフォローアップ目的のCTで血栓の縮小を認めたため直接経口抗凝固剤DOACに置換した。現在後遺症などなく術後後療法として抗がん剤による治療を優先し、後日食道癌の治療も行う予定である。血栓症治療と婦人科癌治療の経過を考察する。

【対象】　当院と連携している医療機関の医師

【場所】　国際医療福祉大学三田病院　5階大会議室

※　ご紹介いただいた患者様についての症例検討も行いますので、ご希望の場合はお申込み時にその旨を記入してください

※　参加いただく際には当院の個人情報保護に関する事項を遵守していただくことが必要となります

＊＊10月以降の開催予定＊＊　　**10月20日（火）泌尿器科症例**

【お申込み】

下記のURL、またはQRコードのお申し込フォームよりお送り下さい。
https://www.iuhw.ac.jp/form/mita/cancerboard.html

【申込締切り】　開催日前週の木曜日まで

お問い合わせ：国際医療福祉大学三田病院　総務課
東京都港区三田1-4-3　〈TEL〉03-3451-8121